

## 第3章 労働災害

休業4日以上之死傷者は929人で前年より増加  
死亡者は5人で前年より減少

平成29(2017)年1月～12月の市内の労働災害被災者数(休業4日以上之死傷者)は、総計827人で前年に比べて42人減少した。

労働者災害補償保険の給付等状況は、給付等総数33,185件で前年に比べて479件増加した。

### 1 平成29(2017)年の労働災害の状況

#### (1) 産業別・規模別の特徴

- ① 休業4日以上之死傷者は前年より42人減の887人、死亡者は1人増の6人となっている。(2-3-1表)
- ② 企業規模別の死傷者数は、30～299人規模の事業所で433人(うち死亡者数4人)と最も多く、前年と比較すると13人増(死亡者数は4人増)となった。次いで、30人未満規模で376人(うち死亡者数2人)、300人以上規模で78人(うち死亡者数0人)となっている。(2-3-1表)
- ③ 産業別の死傷者数は、その他の事業で496人(うち死亡者数3人)と最も多く、前年と比較すると31人減(死亡者数は1人増)となった。次いで、運輸交通業で133人(うち死亡者数1人)、製造業で130人(うち死亡者数1人)、建設業で128人(うち死亡者数1人)となっている。(2-3-1表)

#### (2) 労働者災害補償保険の給付等状況

- ① 適用事業所は27,256事業所、労働者数は540,383人で、前年度と比べると、事業所数は1,245箇所増加、労働者数は13,206人増加している。(2-3-2表)
- ② 給付等総数は33,185件、支給額は約29億円8,100万円で、前年度と比べると、479件増加し、約1,600万円増加している。(2-3-2表)

#### (3) 事故の型別労働災害発生状況

- ① 事故の型別にみると「転倒」(197件)、「墜落・転落」(147件)、「無理な動作の反動」(130件)などが多くなっている。(2-3-3表)
- ② 産業別にみると、商業(134件)、運輸交通業(133件)、製造業(130件)、建設業(128件)などが多くなっている。発生の型をみると、商業では「転倒」(41件)、運輸交通業では「墜落・転落」(26件)、製造業では「転倒」(30件)、建設業では「墜落・転落」(37件)などが多くなっている。(2-3-3表)
- ③ 市内の労働基準監督署に報告のあった死亡事故の発生状況の詳細については、2-3-4表に記載したとおりである。

2-3-1表 産業別・規模別労働災害発生状況(平成29(2017)年1月～12月) (単位:人)

産業別 規模別	事業所規模別被災者 ( ) は死亡者数				H28(2016)年 産業別合計内訳
	30人未満の 事業所 (事務組合も含む)	30～299人の 事業所	300人以上の 事業所	H29(2017)年 産業別合計内訳	
建設業	102 (1)	26 (0)	0 (0)	128 (1)	155 (2)
製造業	52 (0)	55 (1)	23 (0)	130 (1)	110 (1)
運輸交通業	35 (0)	93 (1)	5 (0)	133 (1)	137 (0)
その他の事業	187 (1)	259 (2)	50 (0)	496 (3)	527 (2)
規模別内訳合計					参考) 全国計
H29(2017)年	376 (2)	433 (4)	78 (0)	887 (6)	120,460 (978)
H28(2016)年	417 (4)	420 (0)	92 (1)	929 (5)	117,910 (928)

注1:休業4日以上之死傷者数であり、( )内は死亡者数である

注2:死傷者数は労働者死傷病報告、死亡者数は死亡災害報告による

資料出所:神奈川県労働局(川崎南・川崎北労働基準監督署 計) 厚生労働省(全国計)

2-3-2表 労働者災害補償保険給付等状況(平成29(2017)年度) (単位:件、千円)

項 目		川崎南労基署	川崎北労基署	H28(2016)年度 合計	H28(2016)年度 合計
事業所数	(所)	13,684	13,572	27,256	26,011
労働者数	(人)	276,828	263,555	540,383	527,177
総数	件数	15,393	17,792	33,185	32,706
	金額	1,602,307	1,378,619	2,980,926	2,817,156
療養補償給付	件数	13,006	15,759	28,765	28,418
	金額	948,543	855,836	1,804,379	1,728,169
休業補償給付	件数	2,016	1,778	3,794	3,701
	金額	419,554	342,126	761,680	697,218
障害補償給付 (一時金)	件数	74	79	153	141
	金額	149,948	122,002	271,950	282,042
遺族補償給付 (一時金)	件数	4	2	6	4
	金額	39,082	29,202	68,284	46,250
葬祭料	件数	15	12	27	19
	金額	11,494	9,526	21,020	14,186
介護補償給付	件数	278	162	440	423
	金額	33,686	19,927	53,613	49,291

資料出所:神奈川県労働局

2-3-3表 川崎市内の業種別・規模別・事故の型別災害発生状況 (休業4日以上死傷)

業種別	規模・型別	合計	事業所の規模別 ( ) 内は死亡者数				事故の型別				
			9人以下	10~49人	50~99人	100~299人	300人以上	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下
建設業	土木工事	37 (1)	21 (1)	15 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	7	6	2	5
	建築工事	69 (0)	43 (0)	24 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	24	11	6	10
	その他の建設	22 (0)	8 (0)	6 (0)	3 (0)	5 (0)	0 (0)	6	4	1	4
	計	128 (1)	72 (1)	45 (0)	5 (0)	6 (0)	0 (0)	37	21	9	19
製造業	食料品製造	34 (0)	1 (0)	8 (0)	5 (0)	10 (0)	10 (0)	2	11	2	1
	繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	衣服その他の繊維	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1	0	0	0
	木材・木製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	家具・装備品	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	パルプ等	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	印刷・製本	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	化学工業	14 (1)	1 (0)	8 (0)	1 (0)	4 (1)	0 (0)	3	3	0	1
	窯業土石	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	鉄鋼業	8 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	2	1	0	0
	非鉄金属	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	金属製品	25 (0)	8 (0)	16 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2	2	0	3
	一般機械器具	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0	1	0	0
	電気機械器具	13 (0)	2 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	5 (0)	3	2	1	3
	輸送機械製造	9 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (0)	1	3	0	0
	電気・ガス	3 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1	2	0	0
上記以外の製造業	14 (0)	4 (0)	5 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	1	5	0	0	
計	130 (1)	21 (0)	47 (0)	20 (0)	19 (1)	23 (0)	16	30	3	8	
鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	
運輸交通業	鉄道等	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0	0	0	0
	道路旅客	29 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	23 (0)	0 (0)	2	6	1	0
	道路貨物運送	102 (1)	7 (0)	54 (1)	21 (0)	15 (0)	5 (0)	24	16	12	6
	その他の運輸交通	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0
計	133 (1)	7 (0)	54 (1)	28 (0)	39 (0)	5 (0)	26	22	13	6	
貨物取扱	陸上貨物	29 (0)	1 (0)	13 (0)	7 (0)	7 (0)	1 (0)	3	8	1	2
	港湾運送業	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0	1	0	1
計	33 (0)	2 (0)	15 (0)	7 (0)	8 (0)	1 (0)	3	9	1	3	
農林業	5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2	0	0	1	
畜産・水産業	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1	0	0	0	
商業	134 (1)	15 (0)	59 (1)	15 (0)	30 (0)	15 (0)	15	41	13	8	
金融広告業	9 (0)	1 (0)	5 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2	3	0	0	
映画・演劇業	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1	0	1	0	
通信業	15 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)	1	3	0	3	
教育研究	8 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	1	2	1	0	
保健衛生業	113 (0)	9 (0)	56 (0)	26 (0)	10 (0)	12 (0)	12	16	6	3	
接客娯楽	60 (0)	7 (0)	41 (0)	6 (0)	6 (0)	0 (0)	4	20	3	2	
清掃・と畜	59 (1)	5 (0)	26 (0)	9 (1)	19 (0)	0 (0)	17	12	3	2	
官公署	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	
その他の事業	55 (0)	7 (0)	27 (0)	8 (0)	8 (0)	5 (0)	9	18	5	2	
平成29(2017)年 総計		887 (5)	153 (1)	380 (2)	129 (1)	147 (1)	78 (0)	147	197	58	57

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川県労働局

平成29(2017)年(1月~12月)

事故の型別																			
崩壊・倒壊	激突され	はさまれ	巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	溺れ	との接触	高温・低温	との接触	有害物等	感電	爆発	破裂	火災	(道路)交通事故	(その他)交通事故	無理な動作の反動	その他	分類不能
1	2	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
0	3	3	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0
1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0
2	7	12	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	9	1	0
1	0	5	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
0	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	4	6	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	
3	8	25	15	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	9	2	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2	0	1	
1	5	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	21	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	7	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	24	0	1	
2	8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	8	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	5	5	8	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11	0	20	2	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
0	9	4	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10	0	42	4	2	
0	0	0	11	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	0	
0	1	10	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	7	1	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	4	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	6	1	0	
11	51	73	51	3	0	22	1	0	0	0	0	0	0	72	0	130	11	3	

注：労働者死傷病報告より  
資料出所：神奈川県労働局

2-3-4表 川崎市内の事業所における労働災害(死亡事故)

発生時期	発生概要 <平成29年(2017)年1月~12月>
1月	早朝の出勤途中、駅前バスロータリーのベンチ付近で被災者が倒れているところを通行人に発見された。長時間労働による過重業務として労災認定されたもの。
3月	客先にて、トラックに載せた積荷にシートをかける作業を行っていた際、脚立の上に乗って作業していたところ、脚立から墜落したものの。
7月	工場のスレート屋根を補修する作業を行っていた労働者が、休憩を終えて作業箇所へ移動していたところ、スレートを踏み抜いて約4メートル下のコンクリート上に墜落したものの。
8月	屋外通路外側の区域の除草作業を行うにあたり、除草する区域における蜂の巣の有無の確認を熊手を用いて行っていた際、誤って開口部より約5メートル下の地下駐車場に墜落したものの。屋外通路と除草する区域の間には手すりが設けられていたが、手すりを乗り越えて作業する区域に立ち入る必要があったものの。
9月	修理業者が産業廃棄物の選別・破砕等を行う処理施設に設置されているコンベヤーの修理作業を行っていたが、修理作業が終わり試運転させたところ、異音が発生したため直ちに停止させて周辺を確認したところ、付近でコンベヤー部品の加工作業をしていた当該事業場の作業員が当該コンベヤーに巻き込まれていたもの。
9月	被災者は商業店舗の警備を行っていたが、店舗の従業員が店舗の営業時間が終了後帰る際に、駐車場のシャッターが完全に閉まっていなかったのを確認したところ、被災者がシャッターと乗っていたバイクに挟まれていたもの。